

平成31年3月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成31年3月27日(水) 9時00分から10時30分まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎2階 全員協議会室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 神田 岳委

4. 出席職員

教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	大野 直哉
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	口石 愛	社会教育課総括課長代理	那賀 啓史
文化・文化財課総括課長代理	神田 高士		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 なし

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。野上委員が今月の3月26日から退任となり、新教育委員となる安東雅幸さんの任期が4月1日となりますので、本日は、1名欠員という形での開催となります。しかしながら、出席者が3名と過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

これより臼杵市教育委員会、平成31年3月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、垂井委員と神田委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、①報告第5号 専決処分の承認を求めることについて(教職員(小・

中学校)の内申について)を非公開としたいので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」に基づき、採決を行います。

賛成の委員は、挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(教育長)

それでは、行事報告に沿って、2.の教育長報告をいたしたいと思います。まずは、1日には、臼杵高校、津久見高校、海洋科学高校、臼杵支援学校の卒業式が行われ、私は臼杵高校へ、垂井委員に海洋科学高校に出席していただきました。臼杵高校は195名の卒業生で、臼杵で学んだ子どもたちが新しい世界に向かって旅立っていきました。立派な卒業式でした。

4日は、3つのきょう育振興会議がありました。昨日も人材育成市民連携会議で、今年から初めて開催された県のICTのプレゼンコンテストがあり、臼杵から北・西・南中が本選に進みました。そのうち、この3つのきょう育振興会議では、2年生の北中に「読み聞かせについて」のプレゼンをしてもらいました。皆さんに前で堂々とプレゼンをしてくれました。とても上手でした。西と南中は、3年生で受験前であったため、昨日の会議でプレゼンを行っていただきました。同日、今年度最後の校長会がありました。今年度で小学校は、佐志生小、下ノ江小、市浜小の3名の校長先生、中学校は、西中、東中の2名の校長先生、計5名の校長が退職されますので、それぞれの方に私の思いについて話をさせてもらいました。

5日から7日は、議会の一般質問が行われました。2日目には、戸匹議員の障がい者スポーツを含めた「ユニバーサルスポーツの普及・推進」についての質問がありました。あまり知られていない言葉でありますので、普及していきたいとの答弁を行いました。匹田久美子議員からは、成人年齢の引き下げに伴い、成人式をどうしていくのかについて質問をいただきました。他の市町村の取扱いを踏まえて検討していくことになりましたが、これまで二十歳の式として行ってきましたので、そのことも踏まえながら検討していきたいと思います。

7日が臨時の教育委員会で内申を決定し、3月15日に臨時の校長会を開催し、各学校の教職員の内示をお知らせしました。マスコミへの公表については、昨日、新聞報道されました。

8日は図書館運営協議会が開催され、今年取り組みや来年度の方針が協議されました。

9日は中学校の卒業式で、委員の皆さんにはそれぞれの学校に出席していただきました。私は、北中学校へ出席しました。74人の卒業生でした。中学3年になると少し頼もしさが出て素晴らしい式でした。今年は市内全体で331人が卒業しました。

12日は、亀城学園の卒業式があり、子どもたちと違った熱い思いと熱気が感じられる

雰囲気がありました。今年は卒業式39名で、大学に進むものと考えております。同日、県内の高校の入試が行われました。14日は、小中一体教育・土曜ふれあい協議会が開催されました。各ブロックの取組み状況と平成31年度の計画について提起いたしました。なお、同日、文科省関係の会計検査がありました。対象は耐震工事や福良ヶ丘小学校の改築などでしたが、特に問題なく終了いたしました。15日は、野津の幼稚園、可愛らしい9人の卒園式が行われました。19日は、3月定例会の最終日でありました。この日は、市職員の異動内示がありました。20日は小学校の卒業式が行われました。私は、野津小学校に出席しました。女子が羽織袴姿で、男子は中学校の制服でした。随分変わったなあと感じました。

市内で318人の卒業生でした。22日が公民館運営審議会で、これも今年度の総括と来年度の事業計画について諮られました。冒頭に言いましたが、昨日26日に、人材育成市民連携会議が行われ、ICTのプレゼンということで、西中が子育て支援について、南中が私たちの学校自慢について行われました。委員の皆さんも大変感心されていました。立派なプレゼンで、中学生の逞しさを感じました。この日は、小中学校の終業式でした。そして、今日の教育委員会の開催ですが、午後は、地域防災会議が開催されます。27日と29日は、今年度の新採用教職員と3年経過し、市外へ転出される教職員対象の面談を行います。明日が、臼杵っこガイド12期性5人と学芸員第3期生3人の認定式がありますが、ガイド、学芸員とも、人数が減ってきているので、やり方の検討を行っていききたいと思います。明日28日には、幼児教育研修締結式が行われます。今年、臼杵小の渡辺先生が各幼稚園と保育園を廻って幼児教育の研修を行っていますが、来年も引き続きやっていききたいと思います。市浜小学校の伊藤教諭が4月から野津小に異動しますが、野津地域を野津小を拠点に行っていきたくて考えていますので、それに伴う締結式となります。29日は、異動に伴う辞令交付を行います。31日は、さくらマラソン・ウォーキング大会が行われます。今年は選挙があるため、1週間早めでの開催となりました。

以上で、行事報告を終わります。補足やご意見等があればお願いします。

(垂井委員)

海洋科学高校の卒業式に出席しました。水産高校の時代や最初の頃の同校の様子をイメージして行ったが、昨年も今年も、それこそ日本の海洋に関することを担っていくんだというような姿勢が素晴らしく、入場から、在校生の送辞、卒業生の答辞、話の聴き方から、本当に、本当に素晴らしい卒業式でした。

23日には、下南保育所の卒園式に出席しました。6年保育、5年保育、4年保育とあるが、あの狭いぎりぎりの中で、証書をもって、親の方を見て、「美味しいご飯をいつも作ってくれてありがとう。」とか、「いつも送り迎えをしてくれてありがとう。」とか「お休みの日はいっぱい遊んでくれてありがとう。」とか、来賓でいる人たちは、もらい涙を流して、「毎年、この涙で3月が終わるなあ。」とか言っています。とても素晴らしい卒園式でした。

26日は、臼杵幼稚園の年中さんの終業式に行きました。渡辺教諭は、見事にこの1年で、子どもたちと打解けていました。こちらから行った工藤君も「くろうさん、くろうさん」と子どもたちが覚え間違っているらしいのですが、相当に子どもたちと心を通わせているようです。年中さんは7人で、今度3人入ってくるので、年長組になって、そら組は10人になるそうです。とてもよい終業式でした。そういうことを含めて、この3月、幼稚園の姿、小学校の姿、中学校の姿、高校の姿を全て見てきましたが、まだ定着しているというには、時期的に早過ぎるのかもしれませんが、教育委員会が頑張って、特に斎藤教育長の肝入りで、15の春の自立の姿を描いた臼杵っこの羅針盤の姿になっていっているなあと感じました。

昨日の西中と南中のプレゼンを見ても、会場の方々が、これが中学生の姿かと感動、感動で、選ばれた生徒とはいえ、本当に落ち着いて15の春という以上に、臼杵市の宝であり、今後が楽しみな人材と感じました。3月には、幼稚園児から、それぞれの成長を見ることができました。渡辺先生の幼稚園への派遣というのも、本当に成功したなと思います。伊藤さんが野津地区にということになりましたが、教育委員会を挙げて、子どもたちを自立させる、しっかりと郷土うすきを愛する子どもたちを育てていくという思いを根っこにというように、子どもたちの姿に感動させられた3月だったと思います。

これより「次第3. の協議事項」に入ります。

3. 協議事項

(教育長)

これより「次第3. の協議事項」に入ります。

報告第5号の「専決処分の承認を求めることについて」(教職員(小・中学校)の内申について)を説明します。

(非公開)

報告第5号については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

これより、議案審議に入ります。まず、第10号議案「教育委員会事務局の人事異動について」を説明します。

(教育総務課長)

※別紙資料(当日配布)に基づき、課長代理級以上の職員の異動内容を読み上げて説明。

(教育長)

第10号議案 報告第5号の説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(神田委員)

基本的なことを聞いてもよいか。困難課長とは何ですか。一見すると「困った人」というようなイメージがあります。

(教育長)

給与が異なる職として設定したものと思います。

他にありませんか。無ければ、第10号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

第11号議案 「臼杵市学校給食センター学校給食会計取扱要綱の一部改正について」説明します。

(学校給食課長)

議案書の3ページをご覧ください。

臼杵市学校給食センター学校給食会計取扱要綱の一部改正について、臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第2号の規定に基づき議決を求めるものであります。改正の内容は、資料編で説明します。資料編の1ページをご覧ください。昨年3月に同要綱を改正しましたが、4項目について支障が生じたため今回改正を行うものです。まず、4ページをご覧ください。新旧対照表となっており、左が改正(案)となっています。下段に「給食数の申込み及び変更」というのがあります。「当該月20日まで」を、「当該前月の15日正午まで」に改正したいと考えています。実際の運用では、これまでも「当該前月の15日正午まで」に提出してもらっていますので、要綱が間違えていましたので修正するものです。続いて、臼杵幼稚園の給食費の件です。5ページの中ほどの第6条第1項について、現行の年額37,400円を年額31,900円に改正するものです。資料編の2ページにパワーポイントで「臼杵幼稚園給食費の改定」の資料がありますが、臼杵幼稚園は、パンとご飯は、給食費とは別に、業者へ支払っています。平成29年度までは、水曜日をお弁当としていましたが、平成30年度から水曜日も給食を食べたいという要望から給食を週4から週5日へ変更し、月水金はご飯、火木曜日はパンとしました。この際、単純にパン代も給食費に含めて積算したために月額500円分を多く徴収してしまっていたものです。今年度多くいただいた分は、お詫びをしたうえで返還いたします。続いて6ページです。これまで、小中学生や教職員が連

続で5日以上欠食があった場合には還付しています。しかし、平日のみで5日連続欠食の場合は、返還となりますが、土日祝日を含んだ場合には、その欠食にカウントしていませんでした。そのような不公平な状況を無くすために改正するものです。なお、先ほどの土日祝日を含んで欠食となった場合は、還付の対象となりますが、休日の分を差し引いて還付するという解釈になります。最後に4つ目のアレルギー対策に関する項目です。資料7ページの第11条の「保護者からの申し出」を「保護者から提出された生活管理指導表」に明確化するものです。この生活管理指導表は、医師の診断が入っているものであり、その診断によりアレルギー対応しているため、単純に、食べ物の好き嫌いで食べれないということだけでなく、医学的に証明されたものを基に対応するという表現に申し出について改正するものです。以上、4点について改正するものです。なお、この改正案については、3月15日に開催した臼杵市学校給食センター運営委員会でも承認を得ている旨を添えさせていただきます。

(教育長)

第11号議案の説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

今は、いろんなアレルギーがあるので、それに細かく対応していくことは大変なことと思います。臼杵市のアレルギー対応については、こんなに対応してくれているといった意見がありましたので、引き続き対応をよろしくお願いします。

(教育長)

アレルギー対応は、非常に神経を使うことであると思うが、給食センターは頑張ってくれています。

(教育長)

では、第11号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

第12号議案の「臼杵市幼児教育推進協議会設置要綱の一部改正について」説明します。

(学校教育課長)

臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第2号の規定に基づき、一部改正がありますので、議決を求めるものであります。資料は11ページから示しています。改正内容としましては、12ページの第3条第3項中の幼児教育アドバイザーを次の各号に掲げる者に、次

の2号を加えるものであります。

(※読み上げ)

- (1) 幼児教育アドバイザー 幼児教育や家庭教育等に関する知識や経験を有しており、第1条に示す方針・計画の趣旨に沿った幼児教育の充実を図るために、助言又は支援を行う者をいう。
- (2) 幼保小連携推進コーディネーター 幼児教育施設派遣研修を修了した者等で、かつ、研修の企画・実施又は幼保小連携の取組について助言又は広く情報の発信・提供を行うものをいう。

以上、2点になります。理由につきましては、臼杵市の幼児教育の更なる推進を図るため、幼児教育アドバイザーに加えて、幼保小連携推進コーディネーターを配置するためであります。

(教育長)

幼保小連携推進コーディネーターを新たに加えました。今説明がありましたように、今年度、臼杵小の渡辺教諭が研修を行いました。来年度も伊藤教諭が野津地域で研修を行います。折角、研修を受けてそのノウハウを持っている方々に、引き続きコーディネーターとして小学校と幼稚園、保育園をつないでいただきたいということで、新たに幼保小連携推進コーディネーターを設置することとしました。過去にも研修受講者がいるので、そういう方にも協力していただこうかと考えています。

(教育長)

説明が終わりましたが、質疑等がありましたらお願いします。

(質疑等なし)

(教育長) では、第12号議案 については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

これより次第「4. の学力向上」に入ります。それでは、「市内中学校の高校進路状況について」を説明します。

お手元のカラー刷りの中学校卒業後の進路調査表として、その1、その2があります。この表の1枚目にありますとおり、全卒業生数は331名であります。県内の各高等学校への進学状況について、調査項目2では、「県内公立高校全日制進学者の」で文字が終わりますので「学科別内訳」の付記をお願いします。2・3枚目は、進路先別の各中学校の一覧

表となっています。本年度、公立高校におきましては、24学校33学科となっています。

3枚目の表は、定時制の爽風館高校、下の表が特別支援学校、高等専門学校、私立高校へ県外の私立など、全てを含めると、県内だけでも32校に散らばっております。進路の数が多い中学で22校、どの中学校も15校以上の高校に分かれている状況です。それに伴って、高校の学科の多様化も教諭自身も研修して、子どもに発信していく、その発信も早い時期に行っていく必要があるかと考えております。定時制に進学する男子1名女子1名も、アルバイトをしながら社会に出ていく準備を進めていくと伺っております。

本日、追加の資料があります。(配布)

今配布しましたのは、臼杵高校と海洋科学高校の地域別合格者数です。臼杵高校は、平成28年度、現在の高校3年生が入学した時から今回平成31年度入学の生徒のデータであります。大きな特徴として、大分市の東部、大在・鶴崎・坂ノ市・佐賀関方面を指しますが、これらの地域からの流入がかなり多くなっております。以前は2次募集で来ていた生徒が、現在は第1希望で来るようになってきている傾向があります。逆に臼杵市から臼杵高校を志願する生徒が年々減っています。海洋科学高校についても、平成30年度入学が市内中学からの進学が少なく危惧しましたが、平成31年度入学は少し持ち直しています。臼杵高校と海洋科学高校を合せると、市内中学生の市内の高校への進学率は33%で3分の1となっております。市内の高校へ進学できるように対策をとることが必要ではないかと考えています。

(教育長)

説明が終わりましたが、これについて、ご意見、質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

東部から多くなっている要因が何かあるのでしょうか。推薦が市外から多いとか、一般試験そのものが多いとか。その辺はどうなんですか。

(教育長)

推薦者は、資料の右の網掛けで表示してある部分が「推薦入試」です。平成31年度の臼杵高校では、臼杵市から推薦が11人受けて合格が5人、津久見が2人受験し合格が2人、大分市東部は、受験が8人あって合格が6人です。その隣が一般入試となっています。臼杵市が100人受けて93人合格、津久見が10人受けて10人合格、大分市東部が86人受けて80人となっています。大分市東部からの受験者数が20人程度増えています。この要因の分析はできていませんが、東部からの生徒が増えているというのは感じます。例年臼杵から110人とかそのくらいが入学しますが、今年は去年より卒業生がちょっと多いんですが、100人程度となっています。

高校の先生方が言うには、臼杵高校は駅に近く通いやすいということを言われますので、

その辺の安心できる部分に関連するのではないかと思います。

(事務局)

補足をします。昨年度、鶴崎高校が1クラス減となり、不合格者が多かったということもあり、今年度に臼杵高校を受験する人が多かったということを知っています。それだけの要因ではないとは思いますが、1つの要因ではないかと思われます。また、上野ヶ丘や舞鶴高校を受験する人は東明高校などの特進クラスを受験している傾向がありますが、鶴崎高校レベルでは、ちょっと合格が難しい場合、臼杵高校を受験するようになっていることもあるようです。詳細については、高校と連絡を取りながら確認していきたいと考えております。

(垂井委員)

今配布された資料の2ページ目にある大分市東部の中学3年生の総数推移ですが、子どもの数が減っていないとか増えています。臼杵市はどちらかと言えば減っている。大在とか坂ノ市に住んでいる人は、2つの理由を言います。電車を降りたら直ぐの学校、周りに誘惑が何も無いことです。その2つで、割といい臼杵高校に行くということです。

親が大分の高校などに子どもを通わせて初めて気付くとか、冬の寒い日に早く起きて弁当を作って、少し風邪気味でも学校に行かせるとか、送迎するとか、遠い高校に通わせる大変さに気づくようです。進路指導も、そこに高校があつて、電車が来なくても直ぐ帰れるとか、迎えにもすぐ行けるとか、通学に要する時間を勉強に使えるとか進路指導の中で説明しておく必要があると思います。

(渡辺委員)

確かに志願者数が臼杵高校は減ってきていますよね。平成28年度に比べると20%も減っています。特に、大分市の各学校に魅力があるのでしょうか。臼杵高校は、大概に言うと、雰囲気の良い学校で、先生方の希望も高く、地理的にも通いやすいという割には、多様化しているのが現実でしょうけど、これは選択肢を増やすことになり、いいことだと思いますが、臼杵高校は、東部から見ると絶好の獲物のような感じになっているのではないかと思います。あまりにも減っているのが心配です。

5. 教育予算等について

(教育長)

教育予算について、要望等ありましたら、お願いします。後でも結構ですので、何か気が付いたらお願いします。

6. その他

(教育長)

それでは、「6. その他」に移ります。今回、特に報告等はありませんが、何か委員の皆様からありませんか。

以上で、次第の6. が終わりましたので、これもちまして、3月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
